議事概要

日 時 : 平成19年8月3日(金)10:00~15:00

場 所 : 候補地現場確認 (5箇所) 及び確認後のまとめ

候補地 NO.1 ・・・ 旭ヶ丘 10 丁目 6 の 27

※美濃焼卸団地下手の多目的広場用地

候補地 NO.2 · · · · 旭ヶ丘1丁目85の1 外2筆

※旧日向酪農

候補地 NO.5 · · · · 高田町岩曽根 22 の 1 外 4 筆

※射擊場跡地

候補地 NO,22 · · · · 笠原町森下 1647 の 1

※笠原町し尿処理場跡地

候補地 NO,29 · · · · 笠原町梅平 4106 の 58 外 1 筆

※製陶会社裏手の山林

- 確認後のまとめ時における主な意見等 -

(委員長)

今回の現場確認については、前回の委員会において候補地として絞り込んだ34箇所のうち5 箇所について、現場の確認を行いました。なお、今回が初回ということもあり現場確認における 共通認識を持つことが重要であることから、委員全員で実施しました。

残りの箇所の現場確認については、8月~10月初旬頃までに実施することとしますが、複数の委員が参加できれば良いと考えています。34箇所全てについて確認を行っておくことが大切であると考えています。

そして全ての現場確認を終えた後、5箇所程度まで絞り込むことができればと考えており、その後、地元に入っての説明等に進めたいと考えています。

それでは、今日現場確認を実施した5箇所について、まとめを行います。委員のみなさま順番 に意見を述べていただきます。

- 各候補地に対する主な意見等 -

(全般的なこと)

- ・アクセスについては、その道路状況や周辺環境を含めて検討する必要がある。
- ・火葬場建設以外の整備(進入道路の整備等)に多額の予算を投じるべきではない。

(候補地 NO,1)

- ・進入路を拡幅する必要がある。
- ・付近に老人施設3箇所が存在していることは考慮すべき課題。さらに、1施設の前を通過する 必要があることがネック。
- ・建設しやすいといえばそのとおりかもしれないが、採掘場が周りに多くあり、殺伐とした印象

が強い。

- ・幹線道路からも入りにくい。
- ・アクセスは良いと思うが、粘土採掘の跡地ということで、地盤調査に多額の費用を要するのではないか。

(候補地 NO, 2)

- ・都市計画道路の計画があるようだが、道路建設の時期と火葬場建設の時期は合うのか。現状では、開発に必要な重機類を搬入する道路が無い。
- ・付近に老人施設2箇所が存在していることは考慮すべき課題。
- ・なぜ、第一種中高層住専地区なのか。
- ・現場を確認すると以外とアップダウンがあると感じる。ここにつくるとなると大規模な開発に なるのではないか。
- ・現状、道路が無いから建設は困難。
- ・他に良い場所が無ければ検討しても良いのではないか。

(候補地 NO,5)

- ・候補地内に3箇所程度平場があるが、真中の場所が良いのではないか。射撃場跡地ということ で鉛の処理をきっちり行うことが重要。例えば表土を除去して、浸出水については、調整池を 設置して監視するなどを行うべき。
- アクセスは良いのではいか。
- ・現場までの道が長い斜面となっていることと、途中、集落を通過することが課題。
- ・岩盤が剥き出しのところがあるが、その強度に不安を感じる。また、真中の場所についても斜 面補強は必要。

(候補地 NO,22)

- アクセスが非常に良い。
- ・既設施設の撤去が必要だが、今の状況のまま放置するべきでもない。
- ・周辺住民に対する説得と土岐市に対する対応が大切だが、し尿処理施設と比較すると、最近の 火葬場は、臭気等の公害が無いことを説明し理解していただくことが重要。
- ・周囲に民家はあるものの、最新の火葬場が整備されることにより、現状(し尿処理場の残骸が 残る状況)よりは良い方向に進むのではないか。

(候補地 NO,29)

- ・進入道路整備や湧水対策といった周辺整備に莫大な費用が必要となるのではないか。
- ・現実的ではない。
- ・候補地の上流域に池がある。下手の農業用水上問題があり、手をつけるべきではないだろう。
- ・一見広いように見えるが、斜面地であり十分な平場が確保できるとは思えない。